

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 80

政策体系	42	事業分類	施設管理費	所管部局	美山支所 地域総務課
会計	一般会計	科目	2.総務費 - 1.総務管 - 9.地域振 現年		
事業名	地域振興関連施設管理運営費				
細事業名	南丹市美山かやぶき美術館管理運営費				
評価表作成者				美山支所 地域総務課	井上 操

1. 事業の概要

地域の観光施設であり、文化・芸術の発信拠点である美山かやぶき美術館の管理費を支出。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

地域の観光施設として、また、地域の活性化拠点施設としての役割を果たすための事業。自主的・主体的な取り組みにより多彩なイベント企画も行い、地域の活性化を目指す。

②事業を実施する必要性

地域が主体的に都市交流事業に取り組み、地域資源を活かし文化・芸術の発信拠点として地域づくりを行い、雇用の創出の場ともなり得ている現状からも本事業は必要である。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	419	326	2,666	1,045	1,200	16,310	1,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	1,095	353	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	419	326	1,571	692	1,200	16,310	1,000
職員等の従事人員		人/年	—	0.15	0.26	0.32			
人件費		千円	—	1,135	764	1,311			
事業費総額		千円	—	1,461	3,431	2,356			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

施設管理委託料（指定管理料）	310,000円
工事請負費	735,000円

5. 事業結果の概要

指定管理者の運営努力により、来館者を減らすことなく運営できた。
 懸案であった土間修繕が実施され、でこぼこの解消、土ぼこりの解消ができ、美術館としての室内環境が整備された。

6. 活動の詳細

(1) 展示活動		
●京都伝統工芸職人展『用の美の空間2010』●田島征彦絵本原画・染色型染展●山本佳子ガラス&上田恭子絹紗2人展●進藤裕木彫展●森恵美子暮らしの手仕事展●大黒三郎組木展●冬季間（12月～3月）美術館所有の石原誠冶水彩画展示	展示期間 4月1日～25日、4月27日～6月27日、6月29日～8月8日、8月10日～9月5日、9月7日～10月3日、10月5日～11月30日 冬季間：団体予約者のみ対応開館	入館者数 年間6150人
(2) イベント活動		
地域のNPO団体に協力を要請しイベント事業を実施。 ●美術館春祭り 地元工芸家によるスタンドグラスアクセサリー作り体験 ●田島征彦講演会「絵本で伝えたいこと」●かやぶき寄席 年3回 ●子ども企画（オリジナルマイバック作り）	春祭り：5月2日～3日、田島講演会：5月2日、かやぶき寄席：5月22日・10月2日・1月8日、子供企画：7月26日	春祭り来場者330人 田島講演会150人 かやぶき寄席延べ200人 子ども企画30人
(3) 施設維持管理		
●展示期間中警備保障会社による警備委託 ●美術館所有敷地の環境整備をシルバー人材センターに委託 ●展示環境にも土ぼこりによる悪影響を及ぼしていた館内土間の修繕工事を実施。	警備委託：4月～11月 周辺環境整備委託：4月～11月 土間修繕工事 1月～2月	警備委託費：100,800円 環境整備費：210,000円 土間修繕工事費：735,000円
(4) 情報発信		
●美山かやぶき美術館のホームページを所有し、定期的な更新とブログを活用した情報発信に努め、集客増への取り組みを実施している。	更新：展示内容の変更及びイベント開催に伴い随時	経費は指定管理者負担

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

かやぶき民家を活用し、美術・工芸展をはじめ各種イベント事業の取り組みなど、地域づくりの一環として地域住民による管理運営を行っている。
本施設はかやぶき屋根であることから定期的な葺き替えが必要であり、年次的な葺き替え計画をたて予算確保の必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

かやぶき屋根の民家を景観としても見せる希少な文化施設を、地域住民による地域づくりの一環として運営している。かやぶき屋根の修繕（葺き替え）等が定期的に必要であり、安定的な財源確保の検討が必要である。

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
地域の都市農村交流の拠点施設としてどう活用するのか。
- ②当該事業のアピール事項
かやぶき屋根の民家を景観としても見せる希少な文化施設を、地域づくりの一環として管理している。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
かやぶき屋根の修繕（葺き替え）が定期的に必要であり、安定的な財源確保の検討が必要である。